

# 生涯学習かわら版

# 北信地区活動だより

～人づくり・つながりづくり・地域づくり～

令和5年3月1日

北信教育事務所生涯学習課 文責：指導主事 菅原 勇介

令和4年12月1日に長野合同庁舎でCSコーディネーター研修会が行われました。



## 北信地区CSコーディネーター研修会

前半は、長野県長寿社会開発センター主任シニア活動推進コーディネーターで信州型CSアドバイザーの戸田千登美さんによる「学校と地域、社会がつながるポイント ～コーディネーターに求められる役割～」と題した講演会を実施しました。



## 住民参加をすすめるためのヒント コーディネーターの役割

### 【戸田さんのお話より】

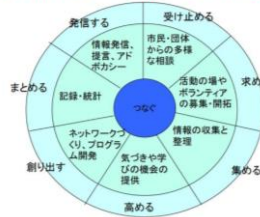
- ・コーディネーターとして中間支援組織と相談する(つながる)ことを大事にするのではないのでしょうか。
- ・住民参加を広げるには、互いの状況をよく知ることや、相談の窓口を明確しておきましょう。そして、具体的な活動と役割を示すといいです。また、参加する人のアイデアを取り込むことで新たな力が生まれます。
- ・「等話」という考え方を大事にしましょう。互いが 話す時間を平等にし、短く話して問いかけることを大事にしましょう。



### 住民参加をすすめるヒント

- ・それぞれの組織内で意識共有  
→コミュニティスクールって何のためにやるの？
- ・連携機関同士の目指すビジョンを共有
- ・お互いの状況をよく知る。情報交換・普段から気軽に連絡できる関係対等に関わり合えるしくみ
- ・ボランティアを募集していることを発信 **窓口が明確**
- ・参加のきっかけの敷居は低く
- ・**具体的な活動内容**があると参加しやすい (**役割・順番など**)
- ・**安心できる場づくり**
- ・ボランティアの**主体的な意見やアイデア**を取りこむことで新たな力が生まれる
- ・**市民は多様**である。できれば個性を受け止める
- ・**困りごと**はチャンス

### ボランティアコーディネーターの8つの役割



後半は情報交換を行いました。学校職員、行政関係者、コーディネーターが入ったグループで実施しました。また、シニア大学等で学び、実際に協働活動に参加している3名の方にも加わっていただきました。



### 【参加者の感想より】

- ・コーディネートをすることについて、これまでは難しく考えるところがありました。今日お話を伺ってどんなことでも自分ができることから活動していくことが大切なのだというのを教えていただきました。
- ・いろいろな立場の方々とお話をし、それぞれの立場の方の思いがあることを改めて感じました。共通しているのは子どものためという思い、そこを再確認できたことが大きな成果だったと思います。
- ・学校と地域との連携、協働が進んで、先生方はどのように育ってきているのかという視点も必要だと思いました。

コミュニティスクールの研修や実践事例の紹介などをします。お気軽に連絡してください。ぜひ視察にも行かせてください。

■■お問い合わせ先■■

北信教育事務所生涯学習課 〒380-0836 長野市大字南長野南県町686-1 担当：菅原勇介

Tel:026-234-9552 E-mail: [hokushinky@pref.nagano.lg.jp](mailto:hokushinky@pref.nagano.lg.jp)

